

令和3年 4月 8日(木)

入学式 ～ 新入生305名(全日制)が入学 ～

4月8日、午後から全日制の令和3年度入学式が行われ、新入生305名の入学が許可されました。式は国歌演奏の後、入学許可、校長式辞、来賓祝辞（菊池伸英同窓会長、正鑄真一PTA会長）と続きます。

校長式辞で西岡誠校長は、「本校は、幾多の変遷を経ながら、我が国有数の工業高校として発展を遂げ、今年で112周年を迎えます。新入生の皆さんは今、松工生として新たなスタートラインに立っています。高校で何を学び、何をなすのか、これからの心意気、行動が問われています。変化の激しい混沌の時代だからこそ、自己の確立を目指し、たくましく生き抜く力を身に付けてください。」と式辞を述べました。

また、菊池伸英同窓会長は新入生に、「皆さんは生命力あふれ、何事にも恐れず目標に向かっていけるエネルギーに満ちあふれています。高校生活は、人生の基礎となるかけがえのない時間です。将来を予測することが困難な時代でも、たくましく生き、社会で活躍するために必要な知識や技術を身に付け、大きな人間へと成長することを期待しています。」と祝辞を述べました。

正鑄真一PTA会長は「皆さんは入学後、愛媛県トップクラスの『文武両道』の世界を目の当たりにします。先輩たちは3年間全力を尽くし、『後悔などあろうはずがない』という気持ちをむねに笑顔で卒業していきます。皆さんもなすべきことをなし、やるべきことに集中し、充実した3年間を過ごしてください。」と祝辞を述べました。

新入生代表宣誓では新入生を代表し西山未唯さん（情報電子科）が「私たち305名は、ただ今入学を許可されました。これからは、松山工業高等学校の生徒として、校則を守り勉学、スポーツに励み、将来、社会に貢献する立派な工業技術者となるよう、努力する覚悟であります。」と宣誓しました。



祝入学式



校長式辞



来賓祝辞(菊池同窓会長)



来賓祝辞(正鑄PTA会長)



祝電